

道

2018年12月1日
(第38号)



小田川

僕を夢中にさせてくれた人、僕の人生に多大な影響を与えた人がいます。灰谷健次郎さん、倉本聰さん、鷺田清一さんなどです。灰谷さんは僕が教員になり『兎の眼』を読んで胸を打たれて以来、倉本さんは三〇歳頃より、そして鷺田さんは五〇歳過ぎから、僕の心の大事な所に居続けています。▼「今」の僕を支える大きな存在が鷺田さんです。いつか「鷺田へケア論」についてまとまった文章を書いてみたいという「夢」があります。また、二〇〇六年に灰谷さんが亡くなったときは身を切られるような喪失感に襲われたことを思い出します。▼さて、倉本聰さん。テレビドラマ『北の国から』などの脚本を書いた人です。彼の脚本は、じわじわと僕を虜にしていきました。建て前と本音の間で生きる人間。見栄っ張りとは正直が同居する人間。思うように生きられず、恥をかき無様な姿をさらし、不器用に、でも、懸命に生きている人たち。倉本さんは、そういう人を、傍に寄り添って暖かく人情味豊かに美しく描いたので。面白くて、哀しくて、見る人の心を震わせます。作中人物がみっともない僕と重なることがありました。▼『前略おふくろ様』にこんなせりふがあります。「矛盾だらけでいいんだと思う。ウン」「カッ」なんか悪くていいじゃないか。ネ?」。僕は、倉本さんの脚本によって、弱い自分を開き直すことを学んだように思います。「弱さ」を大切にすることを知りました。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

TEL. 090-5366-1497

MAIL michi-care@outlook.jp

H.P. <https://michi-care.jimdo.com/>

林道也



遠田 椋の木